

# まちかどフォトニュース

おもしろいこと、珍しいもの、どんなことでもいいので耳よりな情報をお知らせください。  
三好市 秘書広報課 ☎ 72-7646

## 結成 5 周年を記念し桜を植樹



近畿圏在住の三好市出身者で組織される「近畿三好ふるさと会連合会」が3月9日、結成5周年を記念して諏訪公園（池田町ウエノ）と桜ヶ丘公園（井川町西井川）にソメイヨシノ計60本を植樹しました。当日は森上修会長や連合会役員、俵徹太郎市長および市役所職員ら約20人が参加し、高さ2m程度の苗木を、諏訪公園に20本、桜ヶ丘公園に40本植樹しました。苗木の購入については、「公益社団法人とくしま森とみどりの会」の助成を活用し実施されました。

## 石積技術の継承と景観の維持



石積みの技術を継承しながら景観を維持をしようと、徳島大学大学院の真田純子助教（景観工学）が主催する「石積み学校」が3月5～7日の3日間、山城町瀬貝で行われました。10人が参加し、修繕作業を通してバランスの取れた積み方を学びました。崩れた石積みから土砂と石を掘り出した後、石積み職人の小笠原竹清さんがバランスよくかみ合うような石を選び、参加者と一緒に積み直しました。

## 文献に載っていない歴史を発掘



昨夏より徳島大学総合科学部社会創生学科の学生6人が授業の一環で行っていた「池田まちづくりオーラルヒストリー」の報告会が、3月4日に中央公民館で開催されました。これは、池田本町周辺と、馬場、西山地区の20名にご協力いただき、昔の話を聞き、その話を年表や地図にまとめることで記憶の中に眠っている地域資源を発掘・再定義、波及効果を期待するものです。さらに学生には活用アイデアの提案もしていただきました。

## 安全・安心に役立てます



全国共済農業協同組合連合会徳島県本部から、みよし広域連合消防本部へ高規格救急自動車（EMT車）が寄贈され、3月25日に同消防本部において受納式が行われました。また式典後には、池田消防署救急隊による救急活動のデモンストレーションも実施されました。寄贈された救急車は4月8日から池田消防署で運用します。これにより、みよし広域連合消防本部の全ての救急車が高規格救急自動車となり、より一層の応急処置の拡大を図り、住民の安全・安心に役立てていきます。

## 今年も四国アイランドリーグ



四国アイランドリーグ plus のオープン戦が3月20日に池田球場で行われ、地元の徳島インディゴソックスは高知ファイティングドッグスと対戦し、5対4と快勝しました。あいにく雨のため、2試合目の信濃グランセローズとの対戦は中止になってしまいましたが、訪れた観客は冷たい雨の中、選手たちに熱い声援をおくっていました。今シーズンのチームキャッチフレーズは「次の一歩」。池田球場では今年も2試合が予定されており、徳島インディゴソックスの活躍が期待されます。

## ほんもの体験で地域に活力を



体験型観光に取り組んでいる地域の事例や課題を議論する「第9回全国ほんもの体験フォーラム in 徳島」が3月16～18日の3日間、徳島県で開催され、県内外から約1700人が参加しました。徳島市での全体フォーラムのほか、17日に池田総合体育館で「農林業を資源とした地域振興の切り札」をテーマに分科会が開かれ、体験型観光に取り組む各地の団体からパネラーを迎え、事例や課題などを話し合いました。また、体験ツアーも行われ、多くの方が徳島の魅力に触れました。



## 花北文学が2年連続最優秀を受賞

富士正晴全国高等学校文芸誌賞の授賞式が、3月23日にサンリバー大歩危で行われ、受賞者に賞状などが贈られました。同賞は三好市出身の小説家、富士正晴氏の功績をたたえとともに、高校生の文芸創作活動への関心を高めようと創設され、今年で3回目を迎えました。今回全国54校の応募の中から、岩手県立花巻北高校文芸部の生徒が制作した「花北文学55号」が2年連続で最優秀賞を受賞。また、県内では初めて協町高校が奨励賞に選ばれました。

## 県西部初サテライトオフィス開所

東京都で人材紹介コンサルティングや人事評価システムの運用事業を手がける「株式会社あしたのチーム」が、池田町旧政海旅館に、サテライトオフィスを開設し、3月4日開所式が開催されました。

開所式では高速ブロードバンド回線を利用し東京とTV会議でつなぎ、地元関係者も合わせ40人が門出を祝いました。

官民協働で過疎地に企業を誘致する「とくしまサテライトオフィスプロジェクト」の一環で県西部では初めてのサテライトオフィス開設となりました。



## スポーツ少年団指導者に研修会

スポーツ指導のレベルアップと指導者による体罰防止の意識を高めることを目的に、三好市スポーツ少年団による研修会が3月12日、三好市池田総合体育館で開催されました。

講師に招かれた徳島大学の佐藤充宏教授からは、「PLAYERS FIRST、関わる大人が力を合わせて子どもたちに理想の環境を、今日の結果ではなく、明日子供がどんなプレーをするか楽しみに指導することが大切」と語られ、参加した指導者や保護者約40名は、子どもスポーツに関わる大人の姿勢について学びました。